

第1回運営部会・第3回区民会議で出た意見	第3回運営部会で出た意見 → テーマと審議の方向性について		第4回区民会議で出された意見
<p>■地域の方と子どもが触れ合うことで、子どものシグナルへの気づきや、情操の形成につながるのでは</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の方と子どもが触れ合うことで子どものシグナルに気づくことができるのでは。商店街へ子どもが買物に行くことで店でのやり取りを通じて子どもの情操が形成されていくのでは。 <p>■中原区の子育て支援は中身がかなり充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> 中原区の子育て支援は中身がかなり充実している。 <p>■世代間の子育て交流の取り組みをしたい</p> <ul style="list-style-type: none"> 世代間の子育て交流の取り組みをしてみたい。 商店や工場などを活用して世代間の交流が行えるのではないかと。昨年度の市民提案型事業のメタルバッチワーク事業など。 <p>■児童委員の充実に向けてPRを</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援は児童委員が主に担当している。充実に向けてPRしてもらいたい。 	<p>■30分～1時間程度の短い時間、子どもの面倒を地域で見れるようになることが理想。どのようにマッチングをしていくのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のお母さんが出かけられるのは平日の午前中であり、その時間にゆとりがあるのは高齢者である。 両者がどれだけマッチングする機会を持てるのか。子育てサロンだけでは不足している。 一時保育を利用するまでもないような短い時間（30分～1時間程度）子どもの面倒を見てくれるようなことを地域力で解決できるのが理想である。 <p>■退職後まもない人が、子どもの相手ができるのではないかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者と子どもを繋ぐ仕組みがあれば理想。 高齢者の方だと子どもの動きについていけないケースがある。退職後間もない方が担い手としてよいのではないかと。 子育てを終えたばかりの方が支援する側になれば良いが、そのような方は仕事を再開したり、親の介護が始まる方もいる。 <p>■場づくりができれば、担い手になる人はたくさん出てくるのではないかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅展示場のママカフェのように、有料でも場があれば人は集まる。 場所があれば、担える人はたくさんいるのではないかと。 こども文化センターや町内会館などが使える仕組みづくりを、上手く区民会議でまとめられればよいのでは。 <p>■サロンなどに来ない人を巻き込む取組が、区民会議ならではのものになるのでは</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育てサロンの存在を多くの保護者は知っている。しかし、知っていることと実際に足を運ぶことは別問題。 支援している環境へ入ってこれない人をどうにかするという取組が区民会議ならではのものになるのではないかと。 	<p>＜テーマ＞</p> <p>■子育て家庭と地域をつなぐ人と場づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 第3期の子育てふれあいカフェをバージョンアップさせて、子育てサロンに足を運ばない人を巻き込んで 地域で子供を見たい人と、見てもらいたい人を結びつける方法を考えることが要点になるのでは 	<p>■お母さん方へのPRが必要</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育てサロンの開催については、会場の確保が困難である。 母親たちへのPRが足りないのではないかと。 なかなか出てこない人たちへ情報を伝える方法を考えていきたい。 <p>■子どもを見てくれる人の発掘</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの面倒を見てくれる人をどのように発掘するか。 子どもへの教育を誰が見るのかを検討することが解決の糸口になると思う。 <p>■情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児検診時での情報提供は、貴重である。 情報を必要とする人に伝える方法を検討する必要がある。 お母さん方は、子育てに関する情報を求めていることや悩みの相談、話を聞いてほしいなど思っている人が多い。
<p>■第3期の「地域における子育て応援体制作りアンケート」の結果を活用すべき</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3期のアンケートの結果を活用すべきである。 <p>■第3期の子育てふれあいカフェの発展継続を考えては</p> <ul style="list-style-type: none"> カフェの継続を考える 対象に合わせた内容を考えることが大切 街に出て実践、いろいろな場の可能性を検討しては 	<p>■第3期の健診時の子育てふれあいカフェを充実させては</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3期の子育てふれあいカフェは、健診時にイベントを行うことで、普段イベントに足を運ばない人が参加してくれた。 親同士が仲良くなれる場が必要である。 仲介するコーディネーターのような人がいるとよい。 保健所の健診ボランティアのような取組をさらに地域へ広げていければよい。 <p>■その他出されたご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を必要な人に届くまで発信し続けることが大切である。 子ども預かりOKのシールを家に貼って子育て層にアピール、発信しては。 		<p>■対象について</p> <ul style="list-style-type: none"> なかなか出てこない人を対象にしたかどうか。 <p>■取り組むための課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 中原区は、共働きが非常に多い。 子育て自主グループに参加されている方も自分たちでリーダーを決めて動き出すには、大変に難しい。

これまで出された意見の確認と課題解決策のアイデアの検討

これまでに出されている意見や課題			第1回課題調査部会での検討事項（特に①、②を検討）			
委員の発言要旨	抽出した問題点	課題	①課題解決のアイデア	②考えられる実行主体	③取組のテーマ（方向性）	④これまでの取組（第3期区民会議までの取組など）
<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流を行えたら良い。 ・地域で足を運べる場所を確保していくことが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最近中原区に引っ越してきた若い世代が多く、地域と関わる機会が少ない。 ・核家族が多く、世代間の交流が少ない。 ・子育てサロンの回数、場がまだ少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間の交流の機会、地域で足を運べる場所をどのように設けていくのか。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロンを知っているが、足を運ばない人もいる。 ・サロンに来ない人への支援を考えると大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の場に来ない方が、子育ての支援を必要としている人がいる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロンに来ないが支援を必要としている方に、どのように支援を行うのか。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・商店や工場などを活用して世代間の交流が行えるのでは。 ・企業の協力で土日の育児イベントを実施している他都市の例もあるので参考にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間の交流や子育てイベントなど、子育て支援について、企業が担える役割がある可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援について、どのように企業の方を活用するのか。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・退職後間もない方が、子どもの面倒を見る担い手としてよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢の方は子どもの動きについていけないケースがある。 ・子育てを終えたばかりの方が支援する側になれば良いが、仕事を再開する方や、親の介護をする方も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの面倒を見てくれる方をどのように発掘するのか。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・一時保育を利用するまでもないような短い時間（30分～1時間程度）、子どもの面倒を見てもらえることを地域力で解決できるのが理想。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短い時間面倒を見てもらえるような関係を地域の中でなかなか築けない。 ・特に第1子の場合は頼める人を地域の中で探せない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で子どもを見たい人と、見てもらいたい人をどのように結びつけるのか。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援は民生委員・児童委員が主に担当して地域で活動しているが欠員がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員が欠員の状況がある。 ・民生委員・児童委員のPRが足りない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で民生委員・児童委員をどのように増やしていくのか。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の「子育てふれあいカフェ」では、音楽の場とともに、食育としてお母さんたちに煮干しもおやつになるなど発見していただけて、とても良かったのでそのような場が増えると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の中で、母親へ役立つ情報を届ける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てイベントと併せて、子育て世代が必要としている情報をどのように提供するのか。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を必要な人に届くまで発信し続けることが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て情報を必要としている人に情報が行き届いていない可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供の方法の検討が必要。 				
<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の方もどのように支援の場に参加できるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て情報を必要としている外国籍の方に情報が行き届いていない可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の方に配慮した情報提供の検討が必要。 				